

名誉会長あいさつ

ごあいさつ



名誉会長
埼玉県知事 上田 清司

障害者のスポーツ活動は、障害者の健康増進や社会参加の促進だけでなく、広く県民の方々に障害者を理解していただく貴重な機会であり、障害のある方が年々増加する中で、その重要性もますます大きくなっております。

平成22年3月に開催されたバンクーバー冬季パラリンピックでは、日本選手が金メダル3個を含む計11個のメダルを獲得しました。とりわけ埼玉県選手が銀・銅メダルを獲得し、その活躍は我々に勇気と感動を与えてくれました。

埼玉県は「あらゆる人にチャンスが与えられ、誰もがゆとりを持って安心して暮らせる」社会づくりを目指して、障害のある方がいきいきと夢や希望を描くことができるよう様々な取組を進めております。

私は、障害者にスポーツをする機会を持っていただき、障害者が豊かな生活を送れるよう、より一層、協会の活動を応援していきたいと考えております。

平成16年の設立以来、県内障害者スポーツ振興の中核的役割を担ってきた埼玉県障害者スポーツ協会は、この6月1日付けで一般社団法人となりました。

どうか、これからも協会の趣旨を御理解いただき、障害者スポーツの振興と協会の更なる発展のために皆様の御支援、御協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

会長あいさつ

会長 塩浦 綾子



風清らかな緑まぶしい季節となりました。皆様にはますますご清祥にてご活躍のことと存じます。

日ごろより、障害者のスポーツ活動につきまして格段のご高配、ご尽力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、当協会は、平成16年11月、埼玉県で開催されました「第4回全国障害者スポーツ大会」まごころ大会を契機に、埼玉県のご指導をいただきながら、県内で障害者のスポーツ活動に携わっていた人々の熱い思いが結実し、同年12月に発足することができました。

爾来、多くの皆様のご理解、ご支援をいただき、協会が目指す「いつでもどこでも いつまでも」のコンセプトのもと確実に着実に歩を進めることができました。

今、埼玉県は、全国一の速さで高齢化が進み、超高齢社会を迎えることが予測され、障害者もここ3年間で1万5千人の増加をみております。一方「彩の国スポーツプラン2010」によると「在宅障害者の77%の方が機会があればスポーツをしたい」また「30%の方が活動を支援してくれる人材の派遣」「49%の方がスポーツ教室などの充実」を求めています。

このような社会の変化やスポーツを取り巻く環境をみた時、当協会の5年間の実績を糧に基盤をさらに確たるものにし、障害者のスポーツ活動に関わる全ての皆様の合言葉である「SPORTS FOR EVERYONE」の実現に向け、大きく前進しなければならないと考えております。

埼玉県障害者スポーツ協会は、皆様のご支援、ご指導を賜りながら、一般社団法人として当協会の目的と障害者のスポーツの現状、要望を踏まえ「事業のさらなる充実、普及発展並びに障害者の社会参加の推進」に全力で取り組んでまいります。

皆様の引き続きの温かいご支援、ご協力を心からお願い申し上げます、挨拶といたします。

お祝いメッセージ

社会福祉法人埼玉県身体障害者福祉協会
会長 松本 悦子

埼玉県障害者スポーツ協会
社団法人化おめでとうございます

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会設立に対し、心よりお祝い申し上げます。

障害者スポーツ協会が平成16年12月に設立されてから5年半の後に法人化されたことは大変なご苦労が多々あったことと思われます。

彩の国ふれあいピックも春季大会や秋季大会と2度開催され、スポーツ協会と関係役員のご努力下、競技団体や実施種目も大幅に増加し、誰もが、いつでも、何処でも、等しくスポーツを楽しみ、大会に参加できることが素晴らしいことだと実感しております。

スポーツ協会が社団法人化され、各種スポーツの普及啓発や、指導者の育成に取り組むなど、関係役員の皆様のご努力に感謝申し上げますと共に、今後ますますご発展いたしますことを心よりお祈り申し上げます御祝いのご挨拶といたします。

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会
顧問 佐復 恵治

「スポーツ協会への期待」

この度は一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会として、新たな法人化のスタートを心よりお祝い申し上げます。

さて、障害者スポーツは障害の種類によって組織やその歴史が異なっています。それらの違いを超えて協働し連携して統合的な団体運営に進んできたことに大変な意義を感じています。

特に精神障害に関係する立場にあって、障害と疾病を併せ持つ特質からスポーツは当初病院でリハビリテーションを目的として取り入れられていたものでした。近年治療の進歩や社会環境の変化から当事者が病院から地域生活移行へ進むとスポーツを楽しむものとして参加者が増えてきました。更に楽しみから競技性へ進展するようになってくると、精神障害者の生活や生き方など自立へのメリットに繋がることが明らかになってきています。

現在はバレーボールや卓球などが中心ですが、その種目を増やし、他の障害者との交流や練習交歓の機会の拡大を通して当事者同士の相互理解が促進され、同時に携わる関係者も意識向上につながるものと考えています。

本埼玉県障害者スポーツ協会がスポーツ競技を通して障害者のノーマライゼーションが進み、更には全県民のスポーツ振興に繋がれることを期待しています。

埼玉県障害者スポーツ指導者協議会
副会長 渡辺 靖亮

法人化のお祝いメッセージ

埼玉県障害者スポーツ協会が一般社団法人化されますことに、さらなるご発展を祈願し、心よりお祝い申し上げます。私たちは、障害者スポーツの資格を有した指導者の集まりですので、埼玉県障害者スポーツ協会とも連携を密にし、様々なイベントで活動したいと考えております。そのためにも、自らの資質を高めるための研修会を開催するなど、日々努力しております。

現在は、研修活動はもとより、広報や事業、地域推進活動など、委員会を組織して活動を続けております。ADAPTという広報誌も発行していますので、機会があればご覧になってください。また、ホームページ (<http://www.e-adapt.org/>) も立ち上げていますので、ネット検索していただければ幸いです。私たちも埼玉県の障害者スポーツの発展・普及を願って活動しておりますので、今後ともますます障害者スポーツ協会との連携を深めていきたいと思っております。

どうぞよろしくお祈りいたします。

社団法人埼玉県手をつなぐ育成会
常務理事 福岡 三治

一般社団法人化を祝して
障害者スポーツの道を開いた特体連と障害者スポーツ協会

このたびは一般社団法人格を取得し、新しい歩みを進められますことを衷心よりお祝い申し上げます。

埼玉県手をつなぐ育成会は、知的に障害を持つ本人と親の団体です。振り返ってみますと、親たちは、障害を持つ本人にとって競争を目的としたスポーツは無理だ、スポーツには無縁だ、とあって長年過ごしていました。

ところが平成4年(1992年)6月、当時の県障害福祉課係長から、第1回ゆうあいピックへ選手を派遣しなければならないと突然に聞かされました。そこで、選手の選考をどうするのが問題となり、時間的にも通常の選考をしている間に合わないの、川口手をつなぐ親の会で立ち上げた「のぞみスポーツクラブ」から選手を募り、急ごしらえの選手団で、同年11月21日東京の駒沢競技場で開催された大会に、なんとか出場することができました。

このときはハプニングの連続で、まず初日の開会式に出るために乗ったバスが道を間違えたために、駒沢競技場近くで大渋滞に遭い、選手たちがバスから降りて走ってなんとか間に合ったことや、2日目は朝から小雨で、あまりにも寒くジャージ1枚で震え上がったこと、残念ながら成績も振るわず一層寒さが身に沁みだしたことなどが思い出されます。

第2回熊本大会からは選手選考会も開催され、選考された選手の合同練習会も実施しました。その甲斐あって、参加した選手は練習の成果を発揮し、金メダルを含め多くの選手がメダルを獲得しました。

第3回群馬大会では、男女のリレーで優勝するなど埼玉県選手団は脚光を浴びるようになり、実に楽しかったです。

第4回は兵庫県で開催することになっていましたが、阪神淡路大震災で中止となりました。

翌年、第5回から再開され、第9回の岐阜大会でゆうあいピックは終わりを告げました。

平成13年(2001年)から、身体障害者と知的障害者が一緒になり、第1回全国障害者スポーツ大会「翔く新世纪みやぎ大会」として宮城県にて開催されました。

わが埼玉県は第4回の全国大会を開催し、これを契機に、県の障害者スポーツ協会の設立を目指して関係者は努力しました。全国でも後発の協会としてスタートしましたが、先に発足した各競技別の協会が県の協会に加入する形になり、理想的な障害者スポーツ協会となりました。

協会設立当初から法人化を目指していましたが、このたび松本副会長のご尽力により平成22年6月1日で一般社団法人として登記が完了し、誠にめでたく喜ばしいことと感じております。

埼玉県の障害者スポーツを盛んにしたのは、知的障害者分野では何ととっても特体連に尽力された重田博先生であり、その功績は大きいと思います。

また、協会の運営に努力をいただいている塩浦会長や大久保副会長、松本副会長、森副会長、小島事務局長、優さん石川さんの各位に、親・親の会として心より感謝申し上げます。



第4回全国障害者スポーツ大会彩の国まごころ大会 開会式入場行進

お祝いメッセージ

スポーツを通じて皆が輝く明るい街づくり

大宮アルディージャ 代表 渡邊 誠吾

埼玉県障害者スポーツ協会の一般社団法人化にあたりお祝い申し上げます。

障害者の方にもスポーツを通じて社会へ参画していただき、明るく豊かな社会生活を送られるよう様々な面で地道な取り組みをされている協会の皆様のご努力に深く敬意を表します。

大宮アルディージャの基本理念は、『スポーツを通じた「地域振興」と「青少年の健全育成」を図り「地域に密着したクラブ運営」を目指す』です。ファン・サポーター、ホームタウン、スポンサーの皆様始め、大宮アルディージャを支えてくださる方々が、選手のパフォーマンスに「夢と元気と感動」を共有し、年配の方から子供まで仲間として互いにアルディージャを話題に笑顔で地域の現在と未来を肩を組んで語り合う。活力溢れる明るい街—そんな街づくりのお手伝いをしていきたいと考えています。

地域の中心的な担い手。そこにはベテラン・中堅・若手・子供・健常者・障害者、といった区分はありません。街を愛する気持ちを持っていることが共通項です。2008年夏の北京オリンピック。まだ記憶に新しい2010年冬のバンクーバーオリンピック。私は、アスリートが見せた超人的なパフォーマンスには鳥肌が立つほど感動を覚えました。しかし、感動はオリンピックに続いて開催されたパラリンピックでさらに最高潮に達しました。ハンディキャップを全く感じさせないパフォーマンスは、ハンディに対する同情といったセンチメンタルな気持ちを吹き飛ばすものでした。

スポーツは、誰でも楽しむことが出来る共通言語です。

大宮アルディージャは、埼玉県障害者スポーツ協会とともに一昨年から「ORANGE! HAPPY!! SMILECUP!!!」(埼玉県知的障害者サッカー大会)を主催しておりますが、第二回の昨年は、11チーム 約190名の選手の参加を得て、非常に盛り上がった大会となりました。決勝の舞台は、プロの選手が戦うNACK5 スタジアム大宮です。ひた向きにボールを追う姿、全力を出し切った後の素晴らしい笑顔、そこには知的障害者という影は全くありません。プレゼンターを務めた大宮アルディージャの齋藤、藤本、江角選手も心からサッカーを楽しんでいる姿に「自分たちの原点を見て力をもらった」と異口同音に言っていました。

今後も埼玉県障害者スポーツ協会におかれましては、障害者の方々のスポーツ振興・普及にご尽力いただくとともに大宮アルディージャも皆様と共に明るい街づくり実現に向けてお手伝いしていきたいと思っております。ご活動の更なるご活躍を期待しております。

※平成20年度から「大宮アルディージャ ORANGE!HAPPY!SMILE CUP!!! (埼玉県知的障害者サッカー大会)」を開催しています。



浦和レッズハートフルクラブキャプテン 落合 弘



フットベースボール教室にて

埼玉県障害者スポーツ協会の皆様、一般社団法人化おめでとうございます。ここまで至るまでには様々なご苦労があったことを推察します。浦和レッズのハートフルクラブ、スポーツ(サッカー)普及活動も今年で7年目を迎え、地元地域の方々にスポーツの楽しさと大切さを徐々に知ってもらえるようになってきました。その活動を通して協会の皆様とも数多く接する機会を持つことができています。ありがとうございます。

私たちの活動は、現在も幼稚園をはじめ、小学校、中学校、一般社会人まで幅広い層に普及活動を行っておりますが、特に念頭に置いて活動しているのは、現代社会において欠如しがちな“思いやりの心”、“一生懸命”という言葉をしっかり伝えたいといったものです。私たちが考えるスポーツの楽しさとは、物事に対して真剣に、そして一生懸命に取り組んだ時に感じる、ワクワクだったりドキドキする気持ちと意味します。

「今だからこそ、スポーツの楽しさと大切さを！」

これはハートフルクラブのスローガンです。今後も、ぜひ皆様とともにスポーツの楽しさと大切さを分かち合っていければと思っています。

※平成20年度フットベースボール教室にて、ハートフルクラブのご指導をいただきました。
※平成20年度から「浦和レッズハートフルカップスマイルサッカー大会」を開催しています。

埼玉ブロンコス#8 北向 由樹 (きたむき ゆうき)



(C) HIROKO WATANABE / SAITAMA BRONCOS / bj-league

この度は、一般社団法人化おめでとうございます。僕たち埼玉ブロンコスは2009-2010シーズンが終了し、イースタンカンファレンス5位という結果で残念ながらプレイオフには出場できませんでした。今年の埼玉ブロンコスは、ヘッドコーチ・アシスタントコーチが代わり、昨シーズン在籍した選手は3人のみとまったく新しいバスケットボールに取り組んだ1年間でした。開幕から連敗が続きましたが、徐々に勝ち星を重ね、チームとしてヘッドコーチの求めるバスケットを表現できるようになった所で人が増え、チームとして納得できる結果にはなりませんでした。

僕個人としては、ヘッドコーチの要求に対してすぐにアジャストできるように、練習の時から心がけ取り組んだシーズンだったと思います。来シーズンは、プレイしている自分たちがバスケットボールを楽しむという事を忘れずに、シーズンが終わった時に笑っていられるように精一杯がんばりたいと思います。皆さんもスポーツを楽しむという事を忘れないでください。埼玉ブロンコスもスポーツで埼玉県をもっと元気にできるように頑張ります、一緒に頑張りましょう！

※平成20年度バスケットボール教室にて、埼玉ブロンコスの選手のご指導をいただきました。

お祝いメッセージ

埼玉大学教育学部教授・附属特別支援学校長 細渕 富夫

誰もが楽しめるスポーツの創造を

私の勤務する附属特別支援学校の生徒たちはスポーツが大好きです。水泳で毎年表彰される子もいるし、毎年シティマラソンに参加し続けている子もいます。放課後になると希望する生徒たちがソフトボールを楽しんでいます。

スポーツを既存の枠組みで理解すると、強く、速く、高く、と競技スポーツの世界をイメージしがちですが、本来のスポーツはみんなで体を動かすことを楽しむ文化だと思っています。パラリンピックでさえもメダルの数ばかり報道されて、障害を克服してがんばった側面が強調されていて残念でなりません。障害者のスポーツを一部の障害者のものにしてはなりません。障害の有無にかかわらず、スポーツを誰もが気軽に楽しめるものにする、これがその国の文化の成熟度を表しているように思います。

誰でも、どんなに重い障害があっても参加できる、楽しめるスポーツを工夫し、広げていただきたい。埼玉県障害者スポーツ協会の今後の取り組みに期待しています。

埼玉県障害者ソフトボール協会 会長 山下 晴巳



ふれあいピックソフトボール大会にて

平成22年6月1日をもって一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会設立の運びにつき、まずもって埼玉県障害者ソフトボール協会役員一同心からお祝い申し上げる次第です。

平成16年12月23日に設立され、その間障害者のスポーツをまとめ知的・身体・精神のハンディをもった選手を育成させ、立派に選手として国の内外で活躍するまでに

なりました。この結果は、埼玉県、県内各市町村をはじめ会長、各副会長、関係役員、特別支援学校、その他各企業、団体等々の統合力によって今日を迎えられたことと思います。今後は、一般社団法人として新たに種目ごとの選手の一人ひとりの夢を少しでも叶えられますこと、そして大きな力となり、更には人生の励みとなりますことをご期待申し上げ、日頃の埼玉県障害者ソフトボール協会へのご指導・ご協力の御礼とこの度の一般社団法人設立へのお祝いのごことばと致します。

埼玉県障害者卓球協会 海老澤 晴一

この度は、社団法人に成られお祝申し上げます。

知的障害を持つ娘は貴協会設立と同じ年から交流センターで卓球を始めました。



埼玉県のマスコット
コバトン

貴協会の加盟団体である卓球協会の方々の御指導により、全国障害者スポーツ大会にも数回の参加を果たす事が出来、様々な方との触れあい、試合での喜びや悔しさ、様々な感動が生きる上での大きな自信に繋がっているようです。

貴協会の、更に幅広い今後のご活躍を期待いたします。

埼玉県障害者フットベースボール協会 岩田 晃広

恐縮ではございますが、フットベースボール協会を代表し、一言お祝いの言葉を寄稿させていただきます。

埼玉県障害者スポーツ協会は2005年、前年に行われた全国障害者スポーツ大会埼玉大会をきっかけに発足しましたね。設立に向け、事務所用の机を本庄にあった東京電力から運び出したり、設立総会の展示用パネルボードを県庁から運び込んだりといった「力仕事」を微力ながらお手伝いさせていただきました。設立総会当日は我々が浦和レッズの優勝パレードと重なり、大変華やかな1日となりました。会場だった埼玉会館の2Fという特等席から観覧できたことを覚えています。あれからもう5年が経つですね。

その間、フットベースボール県代表チームは5年連続で関東ブロック予選決勝に駒を進めながら、苦汁をなめ続けております。関東で勝ち、全国制覇を成すことがチームの夢であり、優勝の報告をスポーツ協会の皆様にするのがチームの悲願となりました。

スポーツ協会は法人化され、ますます御活躍なされることと思います。スポーツ協会に置いていかれることのないよう、我々も大きな夢に向かって頑張っ

て参ります。
「ベストを尽くそう！ 明日は晴れる！！」

この度は埼玉県障害者スポーツ協会の法人化、誠に改めてとうございました。

埼玉県障害者サッカー協会 会長 井上 晴夫

この度は、埼玉県スポーツ協会の一般社団法人化、誠に改めてとうございます。心からお慶び申し上げます。

ここに至るまでには、関係者の皆様の大変なご苦労があったかと思えます。いろいろな困難を一つ一つ乗り越えられ、成し遂げられたことに深く敬意を表します。

サッカー協会は、今までスポーツ協会さんにいろいろと支えて頂いたおかげで、いろいろな活動を充実させることができました。今後は少しでもご恩返しができればと思っております。

また、この機会に、当協会も初心返り、自分達の活動を見直していきたいと思えます。

最後に、一般社団法人埼玉県スポーツ協会さんが、益々発展されることを祈念し、甚だ簡単ではございますが、お祝いの言葉とさせていただきます。



レッズカップにて

埼玉県障害者バスケットボール連絡協議会

この度は、一般社団法人設立、誠に改めてとうございます。心よりお祝い申し上げます。

貴協会様の益々のご発展とご活躍をお祈りするとともに、我々、埼玉県障害者バスケットボール連絡協議会といたしましても「SPORTS FOR EVERYONE」の合い言葉を胸に、障害種、競技種を超えて協力させて頂きたいと存じます。

今後とも、共に同じ夢を目指すチームとして、引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。



ふれあいピックバスケットボール大会にて



関東ブロック地区予選会にて

お祝いメッセージ

埼玉県立大学 教授 佐藤 雄二

埼玉県障害者スポーツ協会の一一般社団法人化、誠におめでとうございませう。私は、この世界に足を踏み入れてからわずか10年余りであり、それより以前から関わって来られた方々にあつては感慨も一入のことと拝察いたします。

2004年に任意団体として埼玉県障害者スポーツ協会が発足した際にも、微力ながらお手伝いさせていだきましたが、この協会（といふかこの世界）の良さは、関わるすべての方々（障害をもつた方、サポートする方、保護者の方、等々）が、分け隔てなく“優しく、親しく”なれるところにあると思ひます。人は誰でも年をとつたり、病気がなつたり、事故にあつたりするもので、いわゆる障害を持つことは普通にあることだ、という認識をみんなが持つことこそが大事であるように思ひます。

「アダプテッド・スポーツ」からいつか「アダプテッド」が無くなる日を夢見てこれからもささやかながら協力させていただきます。



埼玉県のマスコット
コバトン



芝桜と武甲山

社団法人日本山岳会埼玉支部 支部長 石橋 正美

一緒に山に登りませんか？

法人化おめでとうございませう。

私たち、「社団法人日本山岳会埼玉支部」の会員は、埼玉県に在住する山を愛する者の集まりです。皆さんは、山に登つたことはありますか？埼玉県にも、素晴らしい山や自然がたくさんあります。ぜひ一緒に山を楽しみましょう。

山の頂に立つことも楽しいですが、それ以外にも楽しいことはたくさんあります。気持のよい空気、風、鳥の鳴き声、木々の変化、立ち込める霧……。山は人生と同じ、ゆっくり着実に無理をせず、そして楽しみながら歩むものです。

わが支部には、実に多彩な人材がいますので、登山はもちろん、植物、花、写真、絵、地図など、山の楽しみ方をたくさんお伝えします。

今後、スポーツ協会との共催で事業ができることを願っています。

野球教室ボランティアスタッフ 青木 洋進

一般社団法人設立おめでとうございませう。

私は、野球教室のボランティアとして第1回から参加しています。

夢に見た憧れのプロ野球選手が時を経て、ボランティアという形で故郷に恩返しをしてくれる。本当に素晴らしいことと思ひました。

教室も暑い中、休憩も惜しんで指導くださるOBの姿に感銘を覚えました。野球の楽しさや時には技術的な話も交えての指導にあつという間に時間が過ぎていきます。参加した皆さんも、お見うけたところかなり野球を経験しているなと思えるベテランから初心者まで楽しそうにボールを追っている姿が印象的でした。汗まみれになって球拾いをしたり、ノックをしたりコーチにドリンクを提供したりするスポーツ協会のスタッフの皆さんの頑張りにも驚きを隠せませんでした。

私にとつてもこの教室は、参加した皆さんと同じくらい意義のある充実した経験となりました。今年も同おうと思ひています。

スポーツ協会のMさんは、高松宮賜杯軟式野球全国大会で全国制覇した時のチームメイトであり、私がお手伝いした石川国体では全埼玉の監督として第3位に輝いています。また、ソフトボールに転向した後も、全日本選手権大会で優勝、準優勝したとお聞きしています。是非このような素晴らしい経験を生かしてますます野球教室を盛んにしていただきたいと期待をしております。もし叶うことであれば近い将来、障害者の野球チームを作つてほしいと思ひます。その際は、私もコーチか球拾いで参加したいと思ひます。

スポーツ協会の役割はますます増えてくるものと思ひます。一般社団法人としてのますますのご活躍をお祈りします。



野球教室の様子

スペシャルオリンピックス日本・埼玉 スポーツプログラム委員長 入澤二郎

毎回ご招待いただいているWINGSは、勝利の経験がほとんど無い、試合で負けてばかりのサッカーチームです。

WINGSはスペシャルオリンピックス日本の、埼玉県を代表するサッカーチームです。

スペシャルオリンピックスの精神のひとつに「可能性を信じる」があります。ボールを上手く蹴れないからサッカーを諦めるのではなく、出来るようになるかもしれないからやってみる、そして、少しでもボールを蹴れたら皆で喜び。もっと遠くに蹴れるようになったら皆で喜び。こんなアスリート達のチームです。だから、勝ちたい気持ちはいっぱいあるんです。だけど、なかなか勝つことが出来ません。

でも誇りだけは高いんです。ナショナルゲーム熊本では上海のチームと国際親善試合をやりました。そして今年は大坂大会への出場が決まりました。アスリートたちみんなが燃えています。

出ると負けのWINGSですが、埼玉県障害者スポーツ協会様の大会に毎回ご招待いただいでつても嬉しいです。サッカーを一生懸命やっている先輩達・仲間達と交流できることで、勇気をいただくことが出来ます。そしてたくさんの方を学ばせていただくことが出来ます。ありがとうございます。

今年こそ一勝したいです。そして皆で記念写真が撮れる様にながります。



埼玉県のマスコット
コバトン

お祝いメッセージ

さいたま市ソフトボールチーム

監督 高橋 淳

このたびは埼玉県障害者スポーツ協会的一般社団法人化おめでとうございます。法人化にあたりご尽力された関係の皆様には深く感謝いたします。ありがとうございます。

私達さいたま市ソフトボールチームも埼玉県障害者スポーツ協会及び埼玉県障害者ソフトボール協会のご支援のもと、色々な大会・教室への参加等おかげさまで年を追って活動の幅を広げていくことが出来ております。

選手一人ひとりも、日々の練習の積み重ねにより着実に上達しつつあり、その一生懸命な姿から私自身たくさんの方を教わっている毎日です。そして技術と同様にチームワークから「相手を思いやる心」をみんなで育てていければと思っています。

最後に、埼玉県障害者スポーツ協会の今後の更なるご発展に期待し、私達も全力で協力させていただきたいと思っております。これからも宜しくお願い致します。

さいたま市ソフトボールチーム 主将 野口 秋男

さいたま市ソフトボールチーム 選手 竹山 哲史

いつもさいたま市ソフトボールチームを支援していただきありがとうございます。皆様のご期待に応えられるよう頑張りますので、これからもよろしくお願い致します。

いつもありがとうございます。いいピッチングをして全国大会に行けるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。

東京 2009年7月17-18日 陸上競技選手 高桑 早生



このたびは一般社団法人化おめでとうございます。

私が一番最初に埼玉県障害者スポーツ協会様にお世話になったのは、ふれあいピックでした。障害者のスポーツについて何も知らなかった私でも気軽に参加できてとても嬉しかったことを覚えています。スポーツをするにあたって恵まれた環境にいられることに幸せを感じました。

私は義足で、陸上競技の短距離と走幅跳を専門にやっています。今では国際大会にも出場させていただけるまでになりました。競技レベルが高くなっていくにつれて、より大きな大会に出たい、その大会で入賞したい、もっと上を目指したい、という具体的な目標を持ち、「より速く走る・勝つ」そんな意識で競技するようになりました。しかし、障害者のスポーツに出会って競技を始めたころと変わらない気持ちがあります。それは「スポーツを楽しむこと、スポーツができる喜び」です。私たちは体を自由に動かせる喜びを誰よりもよく知っているから、どんなに辛い時でもこの気持ちを忘れないでいられるのだと思います。「スポーツ=楽しく体を動かす」ということだとしたら、スポーツを始めることはそんなに難しいことじゃないような気がします。だから私は今、競技をすることができています。スポーツをすることで充実した日々を送っている今を幸せに感じています。

私はまだまだ未熟者ですが、私にとってスポーツはかけがえのない存在です。そんなスポーツにずっとかかわっていけるような充実した競技環境、障害者のスポーツのさらなる発展と向上を今後も期待しています。

第10回全国障害者スポーツ大会 水泳選手 石井 康子

この度は、一般社団法人化おめでとうございます。

私は脳性マヒという障害ですが、スポーツがとっても大好きです。

学校での体育の授業が楽しかったからです。先生がバスケットボールの代わりにバレーボールを使ってゴールへ投げたり、マラソン大会では距離を短くし走ったりとスポーツの楽しさをたくさん教えてくれました。

社会人になってからは体を動かす機会がなくなってしまい、骨折をきっかけに「やっぱり体を動かさなければ！」と思い、リハセンでの体育や交流センターへ通い、体を動かすことを始めました。

そして水泳というスポーツに出会いました。

10数年ぶりのプールは恐怖感でいっぱいでしたが、先生達の工夫によって、水中の楽しさがじわじわと沸いてきました。初めて参加した記録会では緊張しましたが、とっても楽しかったことをはっきりと覚えています。

水泳を始めて5年後、全国大会へ参加することができ大きなプールで泳げて全国の競泳者や埼玉県の選手の皆さんと一緒に過ごせてとても楽しかったです。スポーツは悔しい気持ちもありますが、達成したときは嬉しさ100倍以上です。

スポーツも生きることもそうですが、挑戦し諦めずに続けることですね。

これからも体が動く限り、体力維持と共に楽しみながらスポーツを続けていきます。スポーツ協会から情報、皆さまのお力も必要ですので、今後ともよろしくお願ひいたします。益々のご発展を祈っております。

第8回全国障害者スポーツ大会 サッカー競技 主将 古川 悟

設立おめでとうございます。自分は今、心からサッカーができて嬉しいです。

それは、多くの人達と交流して、仲良くできるからです。

そして、その人達から色々学び、成長することができました。

色々な大会があるからこそ経験できることなので、これからも宜しくお願ひします。



一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会設立時総会・理事会

平成 22 年 5 月 15 日（土）、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会設立時総会・理事会を開催しました。

主な議案

- (1) 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会定款の制定について
- (2) 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会総会規則の制定について
- (3) 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会理事会規則の制定について
- (4) 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会役員を選任について
- (5) 平成 22 年度事業計画について
- (6) 平成 22 年度収支予算について
- (7) 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会への移行方法について



設立時総会・理事会の様子①

上程しました全議案は、それぞれ総員をもって原案の通り可決されました。

また、法人化を記念し、総会・理事会出席者に記念植樹用・ひいらぎを贈呈しました。ひいらぎにそえた木札は埼玉県立上尾かしの木特別支援学校の生徒たちが作成したものです。



木札



木札作成作業の様子

設立時総会・会長就任挨拶

今今は、正会員並びに理事の皆様にご推挙いただき、会長に就任することとなりました塩浦綾子でございます。引き続き皆様のご指導・ご支援を賜り、事業を進めてまいりたく存じますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、埼玉県障害者スポーツ協会は、皆様にもご配付申し上げました「埼玉県障害者スポーツ協会の 1986 日」にもありますとおり、多くの事業に取り組み、多くの皆様のご支援のもと、多くの成果を上げることができました。

一方、平成 16 年、当協会設立時に掲げた事業計画のうち法人化につきましては、会員相互の長年の悲願でございましたが、本日ここに一般社団法人設立として皆様とともに喜びの時を迎えることができました。これもひとえに、埼玉県並びに顧問の皆様、正会員・賛助会員・特別会員の皆様をはじめとするご関係の皆様のご長年にわたるご指導と温かいご支援の賜物でございまして改めて厚く感謝を申し上げる次第でございます。

私といたしましても法人化を機に定款に定めます目的達成と、「SPORTS FOR EVERY ONE」の実現に向け、さらに全力を傾注してまいります。

皆様におかれましては、旧に倍しますご指導、ご支援を心からお願い申し上げます。就任とお礼の挨拶といたします。

新役員 一覧

名誉会長 上田 清司
(埼玉県知事)
会長 塩浦 綾子
(さいたま市里親の会会長)
副会長 大久保 春美
(北京パラリンピック団長)
副会長 重田 博
(県立特別支援学校教諭、
日本知的障害者陸上競技連盟理事)
副会長 松本 洋
(2002FIFA ワールドカップ
日本組織委員会埼玉県支部長代理)
副会長 森 孝慈
(元サッカー日本代表監督)
常務理事 小島 宏之
(埼玉県障害者スポーツ協会)
理事 岩田 晃広
(埼玉県障害者フットベースボール協会理事)
理事 兼子 章
(埼玉県障がい者ボウリング協会会長)
理事 五嶋 善明
(埼玉県障害者水泳協会会長)
理事 白石 三重子
(埼玉県障害者卓球協会会長)
理事 竹井 彰彦
(埼玉県障害者バレーボール協会会長)
理事 長野 哲也
(埼玉県障害者バスケットボール連絡協議会代表)
理事 福田 孝一
(埼玉県障害者アーチェリー協会会長)
理事 山下 晴巳
(埼玉県障害者ソフトボール協会会長)
理事 山本 達也
(埼玉県障害者陸上競技協会副会長)

顧問 上田 清司
(財団法人 埼玉県体育協会会長)
顧問 河端 静子
(NPO 法人 埼玉県障害者協議会代表理事)
顧問 松本 悦子
(社会福祉法人 埼玉県身体障害者福祉協会会長)
顧問 村山 勇治
(社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会理事長)
顧問 佐復 恵治
(埼玉県精神障害者家族会連合会会長)

理事 斉藤 正美
(社団法人 埼玉県精神保健福祉協会事務局長)
理事 中川 健司
(社会福祉法人 埼玉県身体障害者福祉協会常務理事)
理事 福岡 三治
(社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会常務理事)
理事 岡崎 典子
(株式会社 グリーン企画社監査役)
理事 佐藤 雄二
(公立大学法人 埼玉県立大学教授)
理事 宮下 達也
(株式会社 埼玉新聞社取締役)
理事 渡辺 靖亮
(埼玉県障害者スポーツ指導者協議会副会長)

監事 小林 惟孝
監事 田中 俊之

賛助会員・特別会員の皆様

○賛助会員（6月10日現在 58団体）

青木信用金庫
曙ブレーキ株式会社
生駒硝子株式会社
株式会社 ウチダオート
浦和ロイヤルパインズホテル
イーザイ株式会社
株式会社 中央印刷社
金子物産株式会社
川口信用金庫
関東自動車株式会社
共栄企画株式会社
株式会社 グリーン企画社
クラブILO
株式会社 サイゼリヤ 障害者雇用店長会
埼玉グラフ株式会社

社会福祉法人 埼玉県身体障害者福祉協会
埼玉県信用金庫
埼玉県発達障害福祉協会
さいたま商工会議所
財団法人 埼玉新聞社会福祉事業団
埼玉県知的障害児者生活サポート協会
社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会
埼玉トヨペット株式会社
斎藤工業株式会社
株式会社 サイドー
株式会社 埼玉りそな銀行
澤田タイガスト工業株式会社
株式会社 島村工業
株式会社 新研設備工業
シン建工業株式会社

株式会社 住田光学ガラス
株式会社 全日
太平ビル管理株式会社
株式会社 太陽商工
株式会社 タナベ建設
積田冷熱工事株式会社
有限会社 ティエムエステート
デジコム株式会社
東京機器サービス株式会社
東彩ガス株式会社
東神システム株式会社
株式会社 トーシンパートナーズ
永山建設株式会社
日酸 TANAKA 株式会社
日本信号株式会社
株式会社 ヒックルスコーポレーション

北辰図書株式会社
前田食品株式会社
三国コカ・コーラボトリング株式会社
ムサシノ機器株式会社
株式会社 武蔵野銀行
株式会社 メイコー・明高堂
株式会社 森島工務店
山三電機株式会社
株式会社 ヨコハマタイヤジャパン
株式会社 ヨコハマタイヤセンター関東
株式会社 リサイクルアシスト
株式会社 和幸製作所

（順不同）

○特別会員（6月10日現在 県内59市町村）

川崎市	熊谷市	行田市	秩父市	所沢市	飯能市	加須市	本庄市	東松山市	春日部市	狭山市	羽生市
鴻巣市	深谷市	上尾市	草加市	蕨市	戸田市	入間市	鳩ヶ谷市	朝霞市	志木市	和光市	桶川市
北本市	八潮市	富士見市	三郷市	蓮田市	坂戸市	幸手市	鶴ヶ島市	日高市	吉川市	ふじみ野市	伊奈町
三芳町	毛呂山町	越生町	滑川町	嵐山町	小川町	ときがわ町	川島町	吉見町	鳩山町	横瀬町	皆野町
長瀨町	小鹿野町	東秩父村	美里町	神川町	上里町	寄居町	宮代町	白岡町	杉戸町	松伏町	（順不同）

賛助会員を募集しています！！

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会は、皆様の会費によって運営されています。障害者のスポーツ活動の普及・充実をはかるには多くの皆様のご理解とご協力が必要です。

ぜひとも、賛助会員として皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

ご入会に関するご質問等は、お気軽に当協会までお問い合わせください。



埼玉県のマスコット コバトン

お知らせ

ホームページリニューアル！！

「一般社団法人 埼玉県障害者スポーツ協会」のホームページがリニューアルオープンしました！是非ご覧ください。

ホームページアドレス：<http://sainokuni-sasa.or.jp>

●「トピックス」のコーナーでは、身近な情報を募集しています。

皆様からのおたより、お待ちしております。

- （例）①私のまちのお祭り
②花の名所 など

「協会だより」次号について

5月に開催しました「彩の国ふれあいピック春季大会」、
「浦和レッズハートフルカップ第3回スマイルサッカー大会」、
千葉県で開催されました「関東ブロック地区予選会」については
次号でお知らせいたします。

